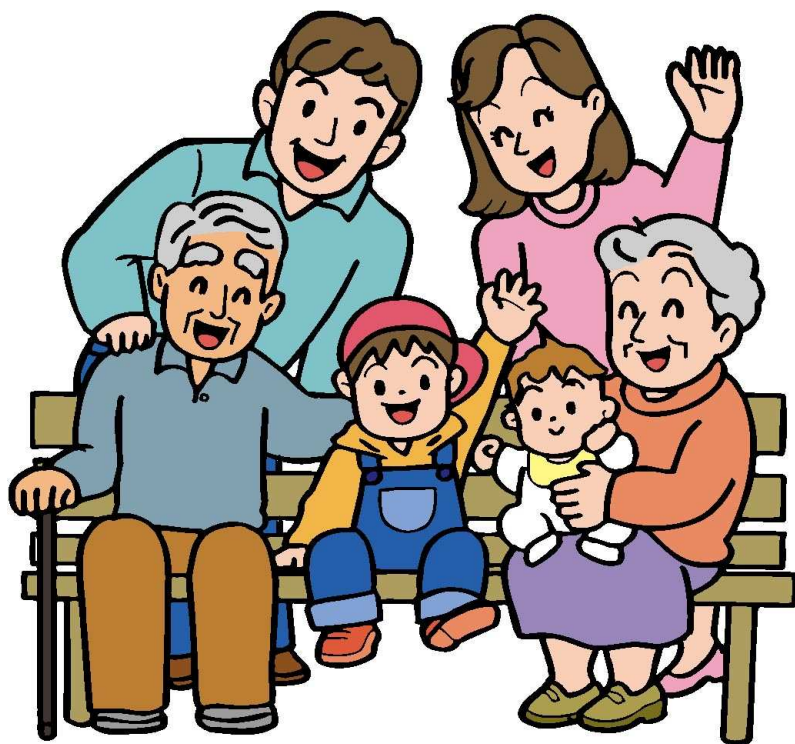


平成23年度予算概要

「自立」「協働」「健康」

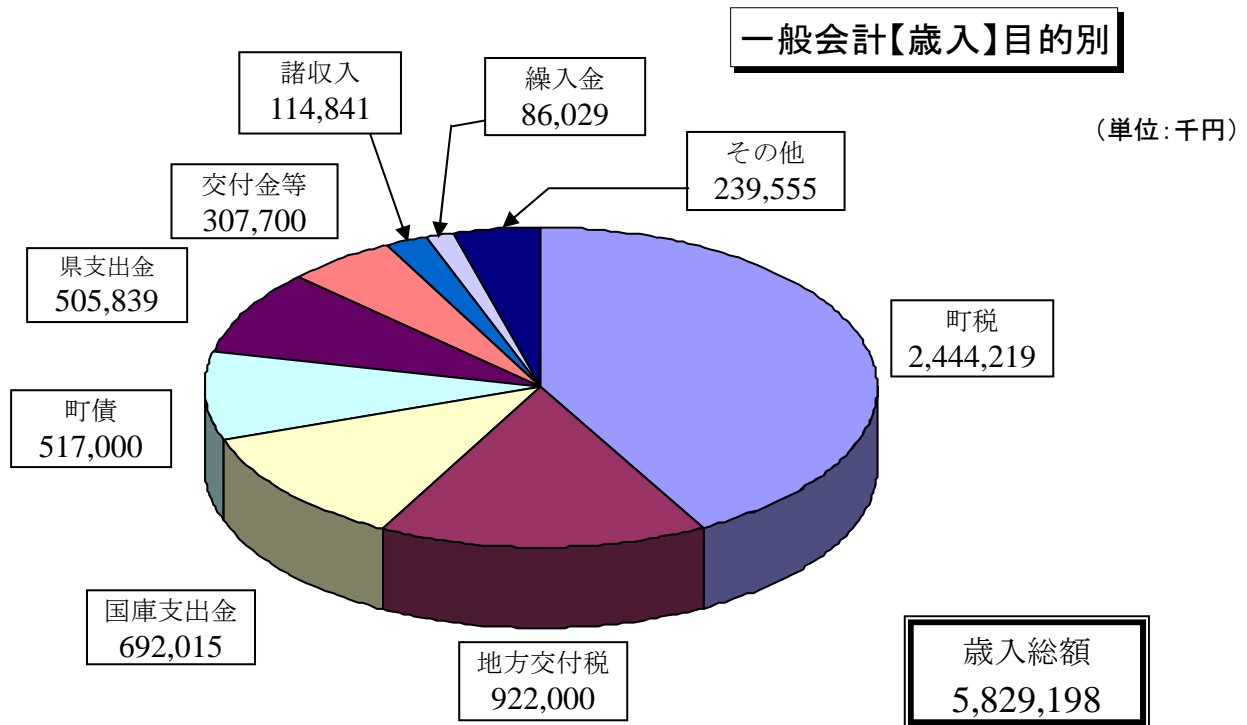


酒々井町

I 平成23年度の一般会計予算

平成23年度の一般会計の歳入歳出の予算を費目別（使用する目的別）に円グラフと表で現しています。歳出の表では、目的別（表2：使用する目的別）と性質別（表3：使用する性質別）の2表からなり、平成22年度の当初予算額との比較をしています。

1. 歳入



平成23年度一般会計予算歳入（表1）の主な内容については、次のとおりです。

町税については、家屋の新增築や償却資産分などにより固定資産税がやや増加するものの、引き続き不況により個人町民税が大幅に落ち込む影響などから対前年度比4,628万3千円、1.9%減の24億4,421万9千円を見込んでいます。

地方譲与税及び各種交付金については、利子割交付金や配当割交付金などが減収となりますが、地方消費税交付金や自動車取得税交付金及び住宅ローン減税分の補てんとなる地方特例交付金が増収となることから、交付金等全体で2,589万9千円の増収となっています。

地方交付税については、「地域活性化・雇用等対策費」の創設など交付税制度の改正による増加要因などから、対前年度比6,050万円、7.0%増の9億2,200万円を見込んでいます。

分担金及び負担金は、酒々井インターチェンジ関連道路整備に関する団体からの負担金があり対前年度比9,018万8千円、135.1%増の1億5,696万円となっています。

国庫支出金については、子ども手当負担金、社会資本整備総合交付金などの影響により対前年度比3億1,310万8千円、82.6%増の6億9,201万5千円となっています。

県支出金については、雇用創出の関連事業や酒々井インターチェンジ関連道路整備県負担金の増加により対前年度比1億7,760万5千円、54.1%増の5億583万9千円となっています。

繰入金については、ちびっこ天国基金からの繰入が増加したものの、財源調整となる財政調整基金からの繰入が減少し、対前年度比3,784万4千円、30.6%減の8,602万9千円となっています。

繰越金は、厳しい財政事情の中、歳出額を精査して最小限の予算としているため、前年度の歳計剰余金（前年度会計で余った資金）を前年度と同様に6,000万円程度と見込み、繰越金を3,000万円としています。〔歳計剰余金の2分の1以上は、財政調整基金に積み立てることとなっています。〕

町債については、道路整備事業債や臨時財政対策債の増加により対前年度比1億190万円、24.5%増の5億1,700万円となっています。

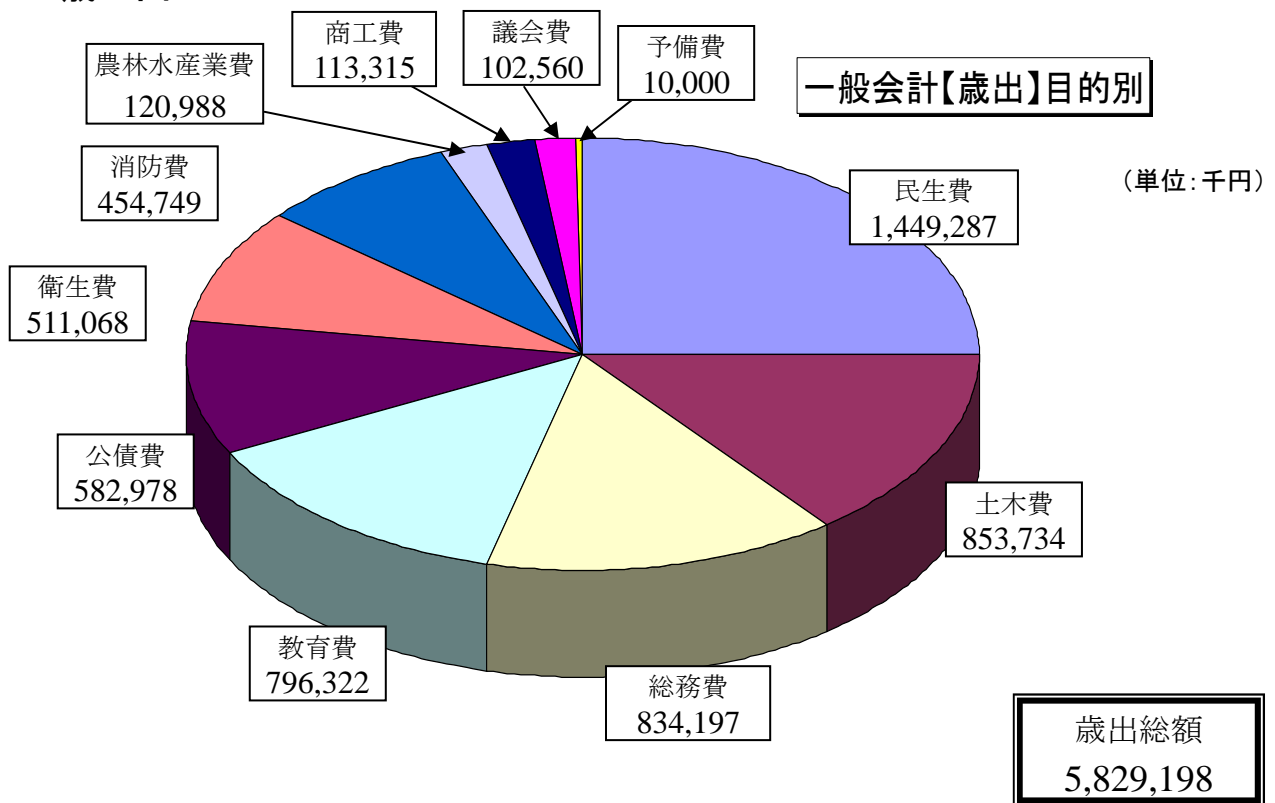
このような状況の中、歳入総額は、58億2,919万8千円となり、対前年度比6億8,890万5千円、13.4%の増となっています。

表1 平成23年度一般会計 歳入

(単位:千円、%)

款	平成23年度 当初予算額	構成比	平成22年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 町 税	2,444,219	41.9	2,490,502	48.4	△ 46,283	△ 1.9
2 地 方 譲 与 税	69,500	1.2	71,201	1.4	△ 1,701	△ 2.4
3 利 子 割 交 付 金	7,800	0.1	10,300	0.2	△ 2,500	△ 24.3
4 配 当 割 交 付 金	3,400	0.1	4,700	0.1	△ 1,300	△ 27.7
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,200	0.0	2,000	0.0	200	10.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	160,000	2.7	135,000	2.6	25,000	18.5
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	24,300	0.4	19,300	0.4	5,000	25.9
8 地 方 特 例 交 付 金	36,500	0.6	35,300	0.7	1,200	3.4
9 地 方 交 付 税	922,000	15.8	861,500	16.7	60,500	7.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,000	0.1	4,000	0.1	0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	156,960	2.7	66,772	1.3	90,188	135.1
12 使 用 料 及 び 手 数 料	49,093	0.8	48,483	0.9	610	1.3
13 国 庫 支 出 金	692,015	11.9	378,907	7.4	313,108	82.6
14 県 支 出 金	505,839	8.7	328,234	6.4	177,605	54.1
15 財 産 収 入	3,500	0.1	3,932	0.1	△ 432	△ 11.0
16 寄 付 金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
17 繰 入 金	86,029	1.5	123,873	2.4	△ 37,844	△ 30.6
18 繰 越 金	30,000	0.5	30,000	0.6	0	0.0
19 諸 収 入	114,841	2.0	111,187	2.2	3,654	3.3
20 町 債	517,000	8.9	415,100	8.1	101,900	24.5
合 計	5,829,198	100.0	5,140,293	100.0	688,905	13.4

2. 歳出



平成23年度一般会計予算歳出(表2)の主な内容については、次のとおりです。

議会費は、議員の改選に伴い議員数が定数となり議員報酬が増となりますが、職員人件費の減額により対前年度年比130万1千円、1.3%減の1億256万円となっています。

総務費については、町議会議員選挙費839万7千円、農業委員選挙費145万2千円の増、また、酒々井駅構内エレベーター設備整備費補助事業3,800万円、登記情報照合調査業務572万3千円、戸籍電算化事業1,995万円、参議院議員選挙費890万8千円、国勢調査費880万8千円などの減少により対前年度比9,797万1千円、10.5%減の8億3,419万7千円となっています。

民生費については、社会福祉事業委託663万1千円、障害者の自立支援に係る介護給付費・訓練等給付費2,005万5千円、酒々井ブランド創出事業1,303万8千円、地域の住環境整備に対する資材等支給事業300万5千円、地区集会所建設補助金1,000万円、児童手当に代わる子ども手当で2億7,480万2千円、私立保育委託料3,067万9千円、岩橋保育園園庭整備事業895万8千円、国民健康保険特別会計繰出金952万9千円の増加、また、社会福祉協議会補助金639万7千円の減少などにより対前年度比4億1,479万5千円、40.1%増の14億4,928万7千円となっています。

衛生費については、救急医療体制整備事業負担金606万8千円、乳児髄膜炎、小児肺炎球菌、子宮頸がん予防接種助成に係る経費2,384万5千円の増加、また、葬祭組合負担金425万4千円、清掃組合負担金514万1千円、衛生施設管理組合負担金133万4千円の減少により対前年度比952万4千円、1.9%増の5億1,106万8千円となっています。

農林水産業費については、笠原地区土地改良事業補助金367万円、農業基盤整備基金積

立金2,000万円などの増加により対前年度比2,131万3千円、21.4%増の1億2,098万8千円となっています。

商工費については、ちびっこ天国運営に係る施設改修費2,107万2千円の増加により対前年度比2,162万円、23.6%増の1億1,331万5千円となっています。

土木費については、地域活性化事業3億6,181万5千円増や中央台公園防災等再生事業2,000万円など社会資本整備総合交付金事業の増加と道路台帳整備業務763万9千円の増、また、JR酒々井駅西口エレベーター設置事業5,200万円、南酒々井橋・平台橋の耐震補強等で1,600万円、下水道事業への繰出金531万4千円の減などにより対前年度比3億696万7千円、56.1%増の8億5,373万4千円となっています。

消防費については、消防組合負担金1,401万5千円、地域防災計画修正業務519万8千円の増、また、防火水槽設置工事777万円の減などにより対前年度比1,255万4千円、2.8%増の4億5,474万9千円となっています。

教育費については、教科用図書指導書360万3千円、児童生徒国際交流振興基金積立金500万円、本佐倉城跡・社会体育施設樹木等管理業務3,165万7千円の増、また、スクール支援員活用推進事業351万5千円、社会科副読本作成事業310万8千円、ゆめ半島千葉国体実行委員会補助金246万2千円の減などにより対前年度比7,187万5千円、9.9%増の7億9,632万2千円となっています。

公債費については、史跡本佐倉城跡用地先行取得事業の償還が進んでいることなどから、対前年度比7,047万1千円、10.8%減の5億8,297万8千円となっています。

歳出の総額は、歳入と同額の58億2,919万8千円で、対前年度比6億8,890万5千円、13.4%増となります。

表2 平成23年度一般会計 目的別歳出

(単位:千円、%)

款	平成23年度 当初予算額	構成比	平成22年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 議 会 費	102,560	1.7	103,861	2.0	△ 1,301	△ 1.3
2 総 務 費	834,197	14.3	932,168	18.1	△ 97,971	△ 10.5
3 民 生 費	1,449,287	24.9	1,034,492	20.1	414,795	40.1
4 衛 生 費	511,068	8.8	501,544	9.8	9,524	1.9
5 農 林 水 産 業 費	120,988	2.1	99,675	2.0	21,313	21.4
6 商 工 費	113,315	1.9	91,695	1.8	21,620	23.6
7 土 木 費	853,734	14.6	546,767	10.6	306,967	56.1
8 消 防 費	454,749	7.8	442,195	8.6	12,554	2.8
9 教 育 費	796,322	13.7	724,447	14.1	71,875	9.9
10 公 債 費	582,978	10.0	653,449	12.7	△ 70,471	△ 10.8
11 予 備 費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
合 計	5,829,198	100.0	5,140,293	100.0	688,905	13.4

表3 平成23年度一般会計 性質別歳出

(単位:千円、%)

項目	平成23年度 当初予算額	構成比	平成22年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率	
1 人件費	1,513,537	26.0	1,509,051	29.4	4,486	0.3	
2 扶助費	679,580	11.6	381,730	7.4	297,850	78.0	
3 公債費	582,978	10.0	653,449	12.7	△ 70,471	△ 10.8	
義務的経費小計	2,776,095	47.6	2,544,230	49.5	231,865	9.1	
4 物件費	1,007,061	17.3	860,257	16.8	146,804	17.1	
5 維持補修費	2,460	0.0	10,779	0.2	△ 8,319	△ 77.2	
6 補助費等	762,321	13.1	756,907	14.7	5,414	0.7	
經常的経費小計	4,547,937	78.0	4,172,173	81.2	375,764	9.0	
7 普通建設事業費	760,116	13.0	474,608	9.2	285,508	60.2	
内訳	補助事業費	559,819	9.6	327,222	6.3	232,597	71.1
	単独事業費	200,297	3.4	147,386	2.9	52,911	35.9
8 積立金	32,395	0.6	9,484	0.2	22,911	241.6	
9 投資及び出資金	16,945	0.3	21,890	0.4	△ 4,945	△ 22.6	
10 貸付金	3,000	0.0	3,000	0.1	0	0.0	
11 繰出金	458,805	7.9	449,138	8.7	9,667	2.2	
12 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0	
合計	5,829,198	100.0	5,140,293	100.0	688,905	13.4	

性質別歳出(表3)を見ると、經常的経費のうち義務的経費では、史跡本佐倉城跡用地取得に係る公債費が減少しています。人件費については、特別職及び一般職で手当等の削減を行っており、子ども手当の予算計上に伴い扶助費が増加したことで、義務的経費は対前年度比2億3,186万5千円、9.1%増の27億7,609万5千円となりました。

物件費については、緊急雇用創出事業やふるさと雇用基金事業、私立保育委託料、乳児髄膜炎、小児肺炎球菌、子宮頸がん予防接種助成などにより対前年度比1億4,680万4千円、17.1%増の10億706万1千円となりました。

補助費等については、消防組合負担金が増加したものの、葬祭組合、清掃組合等への負担金の減少などにより対前年度比541万4千円、0.7%増の7億6,232万1千円となっています。

普通建設事業については、地域活性化事業をはじめとする社会資本整備総合交付金事業並びにその他事業内容や緊急性等を精査した結果実施するもので、対前年度比2億8,550万8千円、60.2%増の7億6,011万6千円となっています。

積立金については、農業基盤整備基金、児童生徒国際交流振興基金への積立により対前年度比2,291万1千円、241.6%増の3,239万5千円となっています。

繰出金については、国民健康保険特別会計への繰出金が増加したことなどから対前年度比966万7千円、2.2%増の4億5,880万5千円となりました。

II 各特別会計

各特別会計の予算状況は次のとおりです。

(単位:千円、%)

特別会計名	平成23年度 当初予算	平成22年度 当初予算	比較増減	伸率
国民健康保険特別会計	2,332,823	2,178,964	153,859	7.1
下水道事業特別会計	496,576	356,471	140,105	39.3
老人保健特別会計	0	4,195	△ 4,195	皆減
介護保険特別会計	903,097	885,133	17,964	2.0
後期高齢者医療特別会計	138,952	146,453	△ 7,501	△ 5.1
計	3,871,448	3,571,216	300,232	8.4

老人保健特別会計は、平成20年度から原則75歳以上の高齢者が加入する医療制度による後期高齢者医療特別会計に移行され、老人保健制度の精算がほぼ終了したため、平成22年度で廃止となります。

III 水道事業会計

水道事業会計は次のとおりです。独立採算制で経営されており、経営努力により経費の削減を図っていますが、今後施設等の老朽化から資本的支出の増加が見込まれます。

(単位:千円、%)

企業会計収支	平成23年度 当初予算	平成22年度 当初予算	比較増減	伸率
水道事業収益	494,280	463,853	30,427	6.6
営業収益	467,294	453,341	13,953	3.1
営業外収益	26,986	10,512	16,474	156.7
水道事業費用	462,613	416,873	45,740	11.0
営業費用	403,404	349,337	54,067	15.5
営業外費用	57,209	65,536	△ 8,327	△ 12.7
予備費	2,000	2,000	0	0.0
資本的収入	131,294	2,857	128,437	4,495.5
分担金及び負担金	131,294	2,857	128,437	4,495.5
資本的支出	447,268	264,513	182,755	69.1
建設改良費	357,290	178,070	179,220	100.6
企業債償還金	87,978	84,443	3,535	4.2
予備費	2,000	2,000	0	0.0

Ⅳ 町のローン残高（地方債の状況）

町債は、主に道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金です。

過去の借金の返済は進んでいますが、近年は町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

（単位：千円）

会計名	平成22年度末見込額	平成23年度中の増減	平成23年度末見込額
一般会計	4,534,929	△ 1,013	4,533,916
下水道事業特別会計	1,151,885	△ 6,546	1,145,339
水道事業会計	1,326,349	△ 87,977	1,238,372
計	7,013,163	△ 95,536	6,917,627

Ⅴ 町の貯金残高（基金残高）

基金は、町が予算を編成する際の財源補てんや特定の目的のために積み立てている貯金です。個人で例えると財形貯蓄、住宅積立金、学資積立金などに当たり、後年度の資金需要や財源不足に備えるためのものです。

【一般会計】

（単位：千円）

基金名称	平成22年度末見込額	平成23年度中増減見込額	平成23年度末見込額
1. 財政調整基金	820,530	△ 17,673	802,857
2. 減債基金	629	1	630
3. 都市開発基金	26,653	13	26,666
4. 地域福祉基金	1,850	2	1,852
5. 児童・生徒国際交流振興基金	6,381	4,686	11,067
6. ちびっこ天国基金	351,507	△ 26,222	325,285
7. 農業基盤整備基金	20,000	20,000	40,000
8. 土地開発基金	2,504	1	2,505
計	1,230,054	△ 19,192	1,210,862

【国民健康保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成22年度末見込額	平成23年度中増減見込額	平成23年度末見込額
1. 財政調整基金	26,641	△ 11,770	14,871
2. 高額療養費貸付基金	3,000	0	3,000
計	29,641	△ 11,770	17,871

【介護保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成22年度末見込額	平成23年度中増減見込額	平成23年度末見込額
1. 介護給付費準備基金	153,361	13,213	166,574

※平成22年度末見込額は、平成23年度予算編成時点での見込額となりますので、実際の基金額とは異なる場合があります。

VI 平成23年度の酒々井さん家の家計

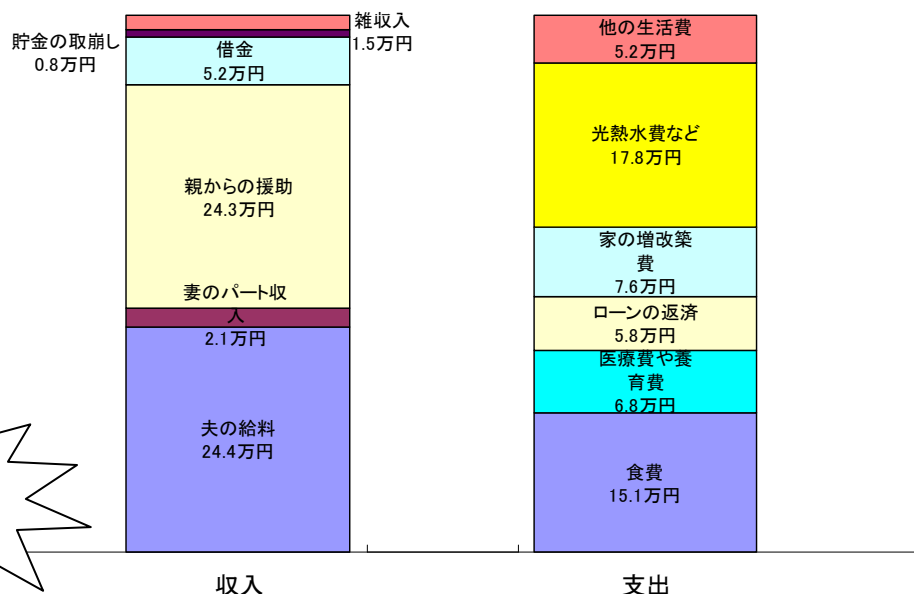
平成23年度一般会計の予算案について、1億円を1万円に置き換えてひと月の家計のやりくりに例えてみました。

酒々井さんの月収（町税収入）は24万4千円で、給料アップとはならないようです。そして、奥さんのパート収入（施設使用料、手数料など）、親からの援助（交付税、国・県補助金など）や貯金の取り崩し（基金繰入金など）、さらに少しばかり借金（町債）をして家計をやりくりしています。

食費（給料、報酬などの人件費）を切り詰め、ローンの返済（公債費）も減っているのですが、完成まで数年かかる家の増改築（道路などの建設改良費）にかかる費用が増えたり、同居する高齢の親や子供たちへの医療費や養育費（医療費助成や子ども手当などの扶助費）が増えています。

過去の借金（町債残高）は45万3千円残っていますが、返済は順調に進んでおり、毎月の返済額も先月の6万5千円から5万8千円に減っています。

**ローン残高
45万3千円**



VII 平成22年度の親からの援助（国から町への財源補てん）

すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するため、地方の固有財源として地方交付税が配分されています。しかしながら、国の三位一体の改革などによって地方交付税の一部が「減税補てん債（平成18年度をもって制度廃止）」や「臨時財政対策債」などの借入金に振り替えられています。

平成23年度の国からの財源補てんについて、地方交付税は、「地域活性化・雇用等対策費」の創設や臨時財政対策債への振替などにより、13億1,200万円を見込んでいます。

国からの財源補てんの推移

単位: 百万円

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
普通交付税	969	728	662	695	553	623	698	771	897	850
特別交付税	147	135	117	93	83	79	103	110	64	72
減税補てん債	34	49	48	32	25					
臨時財政対策債	225	507	357	274	258	235	220	321	427	390
計	1,375	1,419	1,184	1,094	919	937	1,021	1,202	1,388	1,312

※ 平成14年度から平成21年度までは決算額で、平成22年度は決算見込額、平成23年度は予算額です。